

論文英語 IV (各 1 単位)

担当者氏名 林 隆久・吉川博文・新村洋一・河野友宏・矢嶋俊介・喜田 聡・千葉櫻 拓・坂田洋一・
川崎信治・小川英彦・尾畑やよい・太治輝昭・渡辺 智

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

バイオサイエンス各分野の研究を行う上で、英語論文を読み理解することは、その分野における情報を得るのみならず、研究動向の最新情報を得ることができる。さらに研究成果を公表する書き方を学ぶ上で不可欠である。

論文英語IVでは、各自の研究主題に関する研究背景の総合的な理解と現在の研究状況の把握を目的として、①各自の研究内容に即した論文に関する最新論文を複数調査し、②過去の研究を含む研究主題の総合的な理解、以上を目的とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

英語科学論文学 分子生物学 遺伝学 細胞生物学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学術論文 1	論文英語IIIからの発展。	論文英語IIの理解。
2	学術論文 2	各自の研究内容に関する最新研究の調査(1)。	調査結果をまとめる。
3	学術論文 3	各自の研究内容に関する最新研究の調査(2)。	
4	学術論文 4	各自の研究内容に関する歴史の調査(1)。	
5	学術論文 5	各自の研究内容に関する歴史の調査(2)。	
6	学術論文 6	調査結果に関する総合レポートの作成。	レポートを作成。
7	学術論文 7	調査結果に関する総合レポートの発表。	
8	学術論文 8	講義内容の総括。	全講義の復習。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料

書名／著者／発行所（発行年）

事前にプリントを配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

なし

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

演習科目であることから、毎回の出席を重視し、訳等の事前準備と理解の総合評価とする。

◆オフィスアワー

担当教員の所属研究室にて、随時対応する。面談等の必要性があれば、講義の際に面談時間を打ち合わせる。

◆その他受講上の注意事項

毎回、十分な下調べを行うこと。